

【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド全号

運用状況のご報告

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、契約期間を延長させていただきました標記ファンドシリーズについて直近の状況をご報告申し上げます。

【本通知の要約】

- 2022年1月18日付「【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド全号運用状況のご報告」にてお知らせの後も、後述のCPD社およびCaptis社（以下、「貸付先グループ」といいます。）との交渉を継続して本ファンドシリーズの返済原資を確保いただくよう努めています。
- しかしながら貸付先グループの返済原資確保は難航しており、2022年6月末返済の不透明感が高まっています。
- 貸付先グループの事業運営資金が徐々に減少する見通しを踏まえ、2022年6月以降はデータベース納入先の新規開拓などの営業活動を一時的に停止し、限定的な活動のみを行う方針です。
- 貸付先グループはこれまでの取り組みに加えて仲介業者を起用して潜在投資家にアプローチし、出資者を探す予定です。

【出資対象事業の概要】

本ファンドシリーズは、クラウドクレジット・ファンディング合同会社がクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社である Crowdfund Estonia OÜ（以下「エストニアグループ会社」といいます）に対して貸付けを行いました。そのうえで、エストニアグループ会社はこの借入金を原資として、イギリス領ヴァージン諸島に籍を置く CPD Limited（以下「CPD社」といいます）へ貸付けを行いました。CPD社への貸付に対しては、CPD社の100%親会社で、アメリカ合衆国でセキュリティ事業を行う CAPTIS INTELLIGENCE INC.（以下「Captis社」といいます）が債務保証を行っております。

Captis社は、独自に構築した犯罪者の顔写真データベースをセキュリティ企業や小売店舗に納入するセキュリティベンチャー企業です。米国の法執行機関(FBI、米国沿岸警備隊、米国財務省、州警察、市警察など)がそれぞれに保有する犯罪者の顔写真を統合したデータベースを構築し、セキュリティ企業や防犯カメラ製造企業、防犯カメラのシステム管理企業、小売店舗などに納入する事業を行っています。Captis社のデータベー

スは顔認証機能付きの防犯カメラと連結され、万引きや強盗といった犯罪の防止および検挙に役立てられません。

【前回報告書から現在までの状況】

2022年1月18日付「【円建て】米国セキュリティベンチャー事業者ファンド全号運用状況のご報告」にてご報告してから現在に至るまでの状況は以下の通りです。

<データベースの納入状況>

貸付先グループは、米国でセキュリティ事業を行う MA 社やその他の小売事業者とデータベース納入交渉を続けております。2022年1月18日付のお知らせにおいて、貸付先グループは MA 社との交渉において基本合意に至っているものの、具体的なサービス開始時期やそれに伴う MA 社からの入金スケジュールは確定していない旨をご報告しておりましたが、現時点でも明確な進展が見られていない状況です。また、MA 社との契約成立に伴い一部資金の返済の可能性がある旨もご報告しておりましたが、こちらも現時点で見通しは立っていない状況です。

貸付先グループは、基本合意に至っている MA 社へのデータベース納入を優先事項として取り組んでおり、現在も MA 社との契約締結に向けた協議を続けています。一方で、その他の小売事業者への納入交渉については、条件交渉の明確な進捗が見られないことから一時的に優先度を下げしております。当面は MA 社との契約締結、既存顧客へのサービス継続に注力する方針を立てています。

<出資等の交渉の状況>

貸付先グループは、事業開始から現在に至るまで、運転資金確保のために定期的に個人投資家からの出資を募ってきました。2022年1月18日付のお知らせにおいて、個人投資家およびベンチャー・キャピタルとの間で出資交渉が続いている旨をご報告しておりましたが、個人投資家からは総額約 100 万 USD の出資を受けた一方、ベンチャー・キャピタルからの出資は破談になりました。個人投資家からの出資金には資金用途制限が付いており、本ファンドシリーズへの返済には充当されず、貸付先グループの運転資金として使用されています。

<貸付先グループの事業運営状況>

貸付先グループは現在、上記の個人投資家からの出資金および既存顧客から定期的に支払いを受けているデータベース納入収益を事業運営資金としております。一方で、上記の MA 社へのデータベース納入が後ろ倒しとなったこと、ベンチャー・キャピタルからの出資が破談となったことなどから、事業運営資金が徐々に減少する見込みです。このような状況を踏まえ貸付先グループは、2022年6月以降はデータベース納入先の新規開拓などの営業活動を一時的に停止し、既存顧客へのサービス継続を中心に限定的な活動のみを行う方針です。

事業運営の不透明感が高まるなかで、貸付先グループは2022年3月に仲介業者を起用し、より広範な潜在投資家にアプローチすることで返済原資の確保に着手しています。

【返済見通しおよび今後の対応】

本ファンドシリーズの延長後の契約期間である 2022 年 6 月末の返済見通しは、MA 社へのデータベース納入の後ろ倒しやベンチャー・キャピタルからの出資の破談を受け、一段と不透明な状況となっております。かかる状況を踏まえ、当社は近く貸付先グループの現地オフィスを訪問のうえ、経営陣に対し引き続きデータベース納入や出資交渉、仲介業者を通じた潜在投資家へのアプローチによる返済原資の確保を促して参ります。

本ファンドシリーズにおいて報告すべき事象が起きた際には、速やかに投資家の皆様にご報告できますよう努めてまいります。今後とも当社業務に対するご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016 年 3 月

【資本金】 1,000,000 円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 8 番 1 号